

2018年9月吉日

各位

公益財団法人 中部圏社会経済研究所  
代表理事 藤井良直

## 「第4回中部社研 IT フォーラム (2018年11月度)」開催のご案内

主催：公益財団法人中部圏社会経済研究所

共催：愛知県立大学情報科学共同研究所

中部圏イノベーション促進プログラム (一般社団法人中部経済連合会)

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は当財団の運営につきまして格別のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、「第4回中部社研 IT フォーラム」を、愛知県立大学情報科学共同研究所と中部圏イノベーション促進プログラム (一般社団法人中部経済連合会) との共催にて、下記のとおり開催いたします。ご参加賜りますよう、よろしくお願いいたします。

なお、今年度より開催時刻及び会場が変更になっていますので、ご注意ください。

敬具

記

1. 日 時：2018年11月28日(水) 15:30~17:30  
(講演90分、質疑応答・名刺交換30分)
2. 場 所：愛知県立大学 サテライトキャンパス  
愛知県産業労働センター 「ウイंकあいち」15階  
(名古屋市中村区名駅4-4-38)
3. 講 師：豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 教授  
人間・ロボット共生リサーチセンター長  
岡田 美智男 氏
4. テーマ：〈弱いロボット〉的思考のすすめ  
一人とロボットとの持ちつ持たれつ関係をめざしてー  
〈講演概要〉  
「はやくひとりのできるようになるんだよ!」との期待の下で、子どもたちは「もうひとりのできるもん!」と得意がる…。わたしたちはこの「ひとりのできる」ことをよとする文化の中で育ってきたようです。これはロボットの研究開発でも例外ではありません。「誰かの手を借りては、自律したロボットとはいえない」とばかり、完全無欠なロボットの開発を進めてきました。しかし、こうした個体能力主義への過度のこだわりが、最近の寛容さやレジリエンスを欠いた社会を生み出してしまっているようです。  
本講演では、〈弱いロボット〉の研究を手掛かりに、お互いの〈弱さ〉を補いつつ、その〈強み〉を引き出すような、人とシステムとの持ちつ持たれつ関係について考えてみたいと思います。
5. ファシリテーター (司会)：愛知県立大学 情報科学部 教授  
小栗 宏次 氏
6. 参加費：無料  
※資料準備の関係上、2018年11月22日(木)までにFAX・電子メールのいずれかの方法でお申込みの上、ご参加いただきますようお願いいたします。なお、参加申込書は当日ご持参いただき、受付にてご提出をお願いいたします。  
(お申込み後、ご都合により欠席される場合は、お手数ですが事務局にご連絡下さいますようお願いいたします。)

以上

## 「第4回中部社研 IT フォーラム (2018年11月度)」開催場所

<開催場所> 愛知県立大学 サテライトキャンパス  
愛知県産業労働センター「ウインクあいち」15階  
(名古屋市中村区名駅4-4-38)

<アクセス> (JR・地下鉄・名鉄・近鉄) 名古屋駅より

- ・JR 名古屋駅桜通口からミッドランドスクエア方面 徒歩5分
- ・ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分



## 第4回中部社研ITフォーラム（2018年11月度）参加申し込み書

**FAX : 052-212-8782**

※今年度から開始時刻及び会場が変更になっております。お間違えのないようご注意ください。

1. 日 時 : 2018年11月28日(水) 15:30~17:30

2. 場 所 : 愛知県立大学 サテライトキャンパス

愛知県産業労働センター 「ウイंकあいち」15階

(名古屋市中村区4-4-38)

お名前	
ご所属団体・企業・部署・役職	
連絡先 電話	
連絡先 FAX	
連絡先 メールアドレス	
(メールアドレスを入力された方のみ) 過去にメールアドレスをご連絡いただきましたか。	<input type="checkbox"/> 連絡済み <input type="checkbox"/> 今回が初めて
今後、中部社研フォーラムのご案内を希望されますか。	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない

※上記にご記入いただいた情報は、公益財団法人中部圏社会経済研究所の「個人情報保護方針」に則り適切に使用いたします。

<問い合わせ先>

公益財団法人 中部圏社会経済研究所

中部社研ITフォーラム事務局

TEL : 052-212-8790 FAX : 052-052-212-8782

E-mail : [criser@criser.jp](mailto:criser@criser.jp)